



Vol. 157

こんにちは としょかんです

発行 延岡市立図書館 〒882-0812 延岡市本小路39-1
TEL 0982-32-3058 FAX 0982-22-0644

2024年



ふくろう通りの企画展

文学賞受賞・候補作品展

【展示期間】2/3（土）～2/29（木）

1月17日（水）に第170回芥川賞、直木賞がそれぞれ発表され、芥川賞には九段理江さんの『東京都同情塔』、直木賞には河崎秋子さんの『ともぐい』、万城目学さんの『八月の御所グラウンド』が選ばれました。

今年も過去の受賞作を含め「芥川賞・直木賞」の展示を行いますので、ぜひお楽しみください♪
その他、全国の書店員がすすめる「本屋大賞」や同賞の中で紹介されている翻訳部門からも受賞作品とノミネート作品と一緒に展示しますのでどうぞご覧ください。

展示の本から



『われら闇より天を見る』

クリス・ウィタカー//著 鈴木 恵//訳
(早川書房)

30年前に一人の少女が命を落とした事件の影響がいまだに残る町ケープにて、新たな事件が起きる。13歳の少女ダッチェスは事件の真相にたどり着くために自身の運命とも闘っていく。2023年「本屋大賞翻訳部門」第1位、受賞作品。

ご存じですか？

高次脳機能障がいパネル展

【展示期間】2/3（土）～2/29（木）

高次脳機能障がいとは、事故や病気などの様々な原因で脳が損傷されたことにより言語・思考・記憶・学習・注意・判断などの機能に障がいが起こった状態のことで、外見からは障がいが目立たないことが多いと言われています。

県の身体障害者相談センターと連携をして啓発、理解のためパネルや関連する本の展示を行います。
この機会に「高次脳機能障がい」について考えてみませんか。

展示の本から



『私の夫は高次脳機能障害です』

本人・家族がおだやかに暮らすための妻たちの知恵』
奥宮 暁子//監修(医歯薬出版)

高次脳機能障害とは何かを解説したうえで、高次脳機能障害となった夫を支える妻たちの視点から生活の上での困りごとや、ユーモアあふれる対応、日々の奮闘など、高次脳機能障害の家族との生活を描いた1冊。

宮崎県三梅(さんばい)といえば・・・



早春の風物詩として2月ごろから咲き始める梅の花。皆さんは「宮崎県三梅(さんばい)」と呼ばれる梅の木が延岡市にあるのをご存じでしょうか。

「宮崎県三梅」とは、新富町の「湯ノ宮の座論梅(ざろんばい)」、宮崎市の「高岡の月知梅(げっちばい)」、そして延岡市松山町慧日山本東寺の「慧日梅(えにちばい)」のことを指します。本東寺境内には「みやざき巨樹100選」にも選ばれている高さ5.5m、幹回り1.3m、樹齢250年(推定)におよぶ枝垂れ白梅をはじめ、白梅50本、紅梅5本があり、これらすべてを「慧日梅」と呼びます。

『みやざきの巨樹100選』(宮崎県発行)によると「慧日梅」は、「戦前に本東寺第28代住職日頭上人が移植したものと伝えられ～」という記載もあります。

過去の新聞記事には「延岡の春は慧日梅から」と紹介されており、現在でも「花物語」のオープニングイベントとして観梅会が行われるほど親しまれています。

慧日梅を見て、早めの春を感じてみませんか。



【参考文献】

『延岡市の文化財』(延岡市教育委員会)
『延岡観光協会80周年記念誌』(延岡市)など



司書おすすめの本



『滅びの前のシャングリラ』

凧良 ゆう//著 (新潮社)

一か月後に小惑星が地球に落ちて、人類が滅亡する。同級生にいじめを受ける中学生、人殺しを依頼されたヤクザ、恋人から逃げ出した女、人気絶頂の歌姫…それぞれが選択する最後の過ごし方とは!?



『知りたいこと図鑑』

みっけ//著 (KADOKAWA)

「月の名称」や「季語」、「長寿のお祝い」「肉の部位」など、知っておいて損はない日常の教養をカラフルな可愛いイラストで紹介します。目で見て楽しい大人の学習図鑑です。

Q.108歳は長寿のお祝いで何と言う?
※答えは裏側にあります。



『帰ってきた生協の白石さん』

白石 昌則//著 (講談社)

『生協の白石さん』が18年ぶりにパワーアップして戻ってきた!?'生き残るのは肉食と草食のどちらですか?」「妻との会話がない。」など、令和の学生や18年前学生だった40代のお悩みに、ユーモア溢れる白石節でお答えします。



『うろおぼえ一家のおかいもの』

出口 かずみ//作 (理論社)

あひるの一家は今日もうろおぼえ。なんて早起きしたのかうろおぼえ。お母さんに頼まれておかいものに出かけたけど、何を買うのかうろおぼえ。みちゆく友達が「これじゃない?」と提案してくれるけど違うような…。『うろおぼえ一家』シリーズの第1作目。



節分のはなし

2月3日は無病息災を願う節分の日ですね。お家や学校などで豆まきをしたり、恵方巻を食べたりする方も多いのではないのでしょうか。

節分は立春の前日にあたります。本来は立春、立夏、立秋、立冬の前日の年4回を節分の日としていましたが、今では2月3日だけがそう呼ばれるようになりました。旧暦の時代には年の変わり目となる2月の節分が大晦日にあたり、新年を迎えるための邪気や疫病を祓う行事が行われていました。この習慣は古代中国から奈良時代に伝わり、一般に広まるまでは宮中の年中行事であったとされます。

『日本大百科全書』を見てみると、宮崎県の一部では節分の夕方から屋外の器具を全て取り入れ、嚴重なる物忌みが行われていたと記載があります。また、関東では災いという名の鬼の目を突き刺すという意味で、柵の枝に鰯(いわし)の頭を刺して軒下に吊るすなどの習わしもありました。

私たちに馴染みのある豆まきの歴史は古く、室町時代以降に始まり、江戸時代には一般庶民にも広まっていったそうです。一方、恵方巻が広まったのは1970年代以降で、大阪の寿司屋がお客さんを呼ぶために考えたアイデアがきっかけで、その後は海苔屋のキャンペーンなどで関西を中心に広まりました。



豆まき



- 以前は大豆を炒った「福豆」を使用していた。
- 家長または年男・年女が豆をまく。
- 「鬼は外」と2回唱えて外にまき、「福は内」と2回唱えて家の中に向けてまく。
- まいた豆を年の数(またはプラス1個)だけ食べる。

恵方巻



- その年の福德を司る歳徳神(としとくじん)がいるとされる方向を【恵方】という。今年は東北東。
- 恵方に向かって太巻きを丸ごと1本、無言で食べると願いが叶うと言われている。
- 太巻きは鬼のこん棒にたとえられ、厄を祓い、福を巻き込み、縁を切らないという意味がある。

新刊案内(一般書・YA向け図書)

〈一般書〉



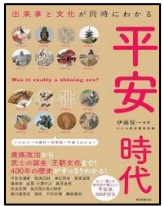
『風に立つ』 柚月 裕子//著 (中央公論新社)

家庭裁判所に送られてきた少年を預かる補導委託の引受を突然申し出た、南部鉄器職人の父・孝雄。父の行動に戸惑う悟。少年と工房で共に働くうち、悟の心にも少しずつ変化が訪れて…。『読売新聞』連載を単行本化。



『いい人すぎるよ図鑑』 明円 卓//著 (PHP研究所)

月初にカレンダーをめくってくれる人、もんじゃ焼きを率先して作ってくれる人、電話なのにお辞儀をして謝っている人…。日常生活にひそむ「いい人」を発見し、収集した図鑑。2023年開催の展覧会から生まれた本。



『出来事と文化が同時にわかる平安時代』 伊藤 賀一//監修 (朝日新聞出版)

平安時代の政治・外交・経済・文化のすべてを時系列順に整理し、混沌とした平安約400年をカラー図版とともにビジュアルに紹介。「源氏物語」のダイジェスト解説も収録する。



『速効!手指ほぐし からだの痛み、不調、たちまち改善!』 松岡 佳余子//著 (河出書房新社)

手ツボ刺激+呼吸法で、からだの不調をたちまち改善! ハンドセラピーの名手が、すきま時間でできる手指のストレッチ「手指ほぐし」を、よくある不調ごとに行いやすい方法で紹介。体験談、Q&Aも掲載する。



『給食の先生がつくる家族に愛されごはん』 aoi//著 (KADOKAWA)

給食の先生・栄養士・食育インストラクターの著者が、少ない品数でも、栄養バランスが整う献立が立てられるレシピを紹介。給食の味の献立、魚や鶏肉のメニュー、簡単おかず、春夏秋冬の旬レシピなどを収録する。



『劔の守人』 小林 千穂//著 (山と溪谷社)

日本百名山のなかで、技術的に最も難しい山として知られる劔岳で、登山者の安全を守り続けている富山県警察山岳警備隊。劔沢警備派出所に勤務する隊員たちの日常、訓練、死と隣り合わせのレスキュー現場などを密着取材する。

〈YA(ヤングアダルト)〉



『#アオフォト』 アオフォト運営事務局//著 (小学館集英社プロダクション)

緊急事態宣言、外出自粛、マスク越しの“新しい日常”。コロナ禍という特殊な状況下で学生生活を過ごした高校生たちの、それぞれの「青春」の1ページをまとめた写真集。



『答えは旅の中にある』 小手鞠 るい//著 (あすなろ書房)

3月の春休み、エレナはテキサス州エルパソからニューヨーク州ウッドストックへ、道生はウッドストックからエルパソへ。ふたりの旅にはどんな出会いがあったのか。ふたりの見つけた「答え」とは?

司書おすすめの本 答え: 茶寿(ちゃじゅ)。「茶」の字を分解した時、「十」「十」「八十八」をすべて足した数だから。

新刊案内(児童書)

〈児童書〉



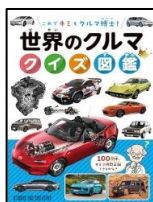
『てらにゃんこ』 猪苗代 昭順//監修 (えほんの杜)

「ありがとう」の意味から、早寝早起き、掃除、整理整頓の効果まで。禅の教えに基づいて、子どもたちに伝えたい日々の心得を、かわいい猫のイラストと優しい住職の言葉で伝授する。



『おたまたげコンテスト36』 アンナ・ゴールドフィ//著 (鈴木出版)

跳びガエルコンテスト、何にもしないコンテスト、チーズ転がし祭り、超高層ビルタイムアタック…。世界中で行われている、変わった競技会や、へんてこなコンテストを紹介する。



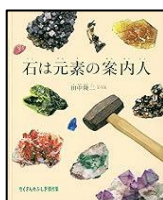
『世界のクルマクイズ図鑑 これでキミもクルマ博士!』 (スタジオタッククリエイティブ)

クルマ博士を目指してクイズにチャレンジ! クルマの歴史やメカニズム、デザイン、性能などをテーマにしたクイズ100問を豊富な写真とともに収録する。より深くクルマのことを知ることができる説明も掲載。



『まほうのアプリカタブレット』 如月 かずさ//著 (PHP研究所)

タブレットを使った授業中、ふしぎなアプリを見つけたこたろう。タッチしてみると、画面の中に現れたへびみみたいな生き物が「まほうのアプリ「アプリカタブレット」のあんないやく、タブーでございませう」と話しかけてきて…。



『石は元素の案内人』 田中 陵二//文・写真 (福音館書店)

この世界のすべてが、たった90種類の元素でできているってほんと? ささまざまな実験を通して、元素の世界を紹介する。身近な世界から考える、美しく、ちょっとかわった元素の本。写真で見る元素周期表付き。



『おすしやさん おやすみレストラン』 misato.//作・絵 (岩崎書店)

たまごの黄身は黄色い毛糸。どんどんあみあみ、もっふもふのお布団ができあがり。くるまって眠ると…。沢山の白くまたちがおすしを布団や寝袋に見立てて、眠るまでを描いた楽しい絵本。

[情報提供:図書館流通センター]

延岡市立図書館カレンダー

2月

月	火	水	木	金	土	日
			1 おはなし会	2 資料整理 休館日	3	4
5 休館日	6 こども 映写会	7 えほんのじかん	8 おはなし会	9	10	11
12 祝日開館	13	14 えほんのじかん	15 おはなし会	16	17	18
19 休館日	20 こども 映写会	21 えほんのじかん	22 おはなし会	23 映写会 加チャージ→7:57	24	25
26 休館日	27	28 えほんのじかん	29 おはなし会			

3月

月	火	水	木	金	土	日
				1 資料整理 休館日	2	3
4 休館日	5 こども 映写会	6 えほんのじかん	7 おはなし会	8	9	10
11 休館日	12	13 えほんのじかん	14 おはなし会	15	16	17
18 休館日	19 こども 映写会	20 祝日開館	21 おはなし会	22	23	24
25 休館日	26	27 えほんのじかん こども映写会	28 おはなし会 こども映写会	29	30	31

開館時間 【火～金】 9:00～19:00 【土日祝】 9:00～17:00 ※時間外の返却は、返却ポストをご利用ください。

【えほんのじかん】 10:30～11:00 対象:0～3才程度 場所:おはなしのへや

【おはなし会】 16:00～16:30 対象:未就学児 場所:おはなしのへや

【こども映写会】 毎月第一・第三火曜日 15:00～15:30(約30分) 場所:おはなしのへや

※3/27(水)、3/28(木)は10:00～15:00～(約30～40分程度)開催します。 場所:カルチャープラザのべおか2階セミナー室2



図書館HP

Instagram